



第4回

# いろいろ文学賞

※ここに掲載している賞はごく一部です。

## 全米図書賞

(National Book Awards) とは (参考: ナショナル・ブック・ファンデーション)

### 賞ができた由来

1950年3月15日に、複数の出版社グループによって創設され、現在は全米図書協会によって運営されている。小説・ノンフィクション・詩・翻訳文学・児童文学の5部門があり、受賞者には副賞が贈られる。

### 対象作品

受賞年の対象期間の間にアメリカ合衆国にある出版社によって出版されていること等、諸々の条件を満たしている作品。授賞式の日、各部門のパネリストが集まり受賞者を決定する。

受賞時期 11月

担当者  
おすすめ



『献灯使』 翻訳文学部門 多和田葉子  
講談社 2014年

大災厄に見舞われ、外来語も自動車もインターネットもなくなった鎖国状態の日本を舞台にしたディストピア小説。

## 渡辺淳一文学賞

とは (参考: 集英社 HP)

### 賞ができた由来

故渡辺淳一の功績をたたえ、集英社により2016年に創設。

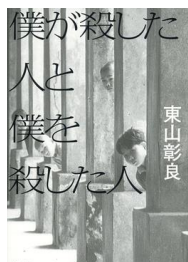
純文学・大衆文学の枠を超えた、人間心理に深く迫る豊潤な物語性を持った小説作品に顕彰される。

### 対象作品

前年1月～12月に刊行の、日本語で書かれた小説単行本、および単行本未刊行の文庫。

受賞時期 3月

担当者  
おすすめ



『僕が殺した人と僕を殺した人』 東山 彰良  
文藝春秋 2017年

2015年、アメリカで少年ばかりを手にかけてきた殺人鬼「袋男/サックマン」という男が捕まる。台湾が舞台の青春ミステリー。

■ □ ■ □ ■ □ ■ 発表時期は、予告なく変更になることがあります ■ □ ■ □ ■ □ ■



## 2019年 本屋大賞直前!

森の図書館からのおすすめ

『ひと』 小野寺史宜著 / 出版社: 祥伝社

森の図書館では4月末まで過去ノミネート作の展示を行なっております。是非ご覧になってください。近年のノミネート作品は人気作品が多いので、ご予約をお願いいたします。